

は な み ず き



No.9

権利擁護・虐待防止委員会だより

「権利擁護・虐待防止委員会」広報誌No.9を発行いたしました。
今年度の各部の事業計画をお知らせいたします。
今後も活動を一層推進していきますので、どうぞ皆様よろしくご協力をお願いいたします。

令和3年度

社会福祉法人 北摂杉の子会

『権利擁護・虐待防止計画』

令和2年度評価から

社会福祉法人 北摂杉の子会

権利擁護虐待防止委員会

令和3年度 事業計画

施設・部（権利擁護虐待防止委員会）

ビジョン・あるべき姿

「人権を守る砦となる」

令和2年度の取り組みの成果と課題

1. 権利擁護虐待防止計画の策定と、委員会による進捗管理
 - ・2020年度も法人全体と、全ての部署において「権利擁護虐待防止計画」を策定し、委員会にて進捗を行った。コロナ禍ということもあり、研修関係の実施が難しい部署もあった。
 - ・外部委員として高槻ライフケア協会の河坂監事にご参加いただきアドバイスをいただいた。
2. 全ての部署で、時期を合わせて権利擁護虐待防止クレド振り返りチェックを実施する。
 - ・2020年度は9月～10月にかけて、法人全体で時期を合わせて振り返りチェックを行った。
 - ・「クレドの浸透」が課題という意見もあり、どのように浸透を図るかを検討した。クレドの見える化が必要ではないかということもあり、デザイン会社にポスター等のデザインを依頼し、現在検討中である。
3. PECSをはじめとする表出コミュニケーション支援を実施する。
 - ・法人ではPECSの担当者を配置し、表出コミュニケーション支援の向上を図ることが出来た。
 - ・新たなツールとして、トーキングマットを導入した部署もあり、表出コミュニケーション支援の充実を推進中。
4. e-ラーニングの「クレド」コンテンツを視聴するなど、人権研修を実施する。
 - ・職員入職時には、e-ラーニング視聴をしていただいたが、その後のクレドの浸透が課題という意見もあり、委員会にて上記の検討を行っている。
5. 法人内外のSV機能を活かし、職員のメンタルヘルスの推進や、職員間の豊かなコミュニケーションにより風通しの良い組織文化を形成していく
 - ・法人外においては、コンサル事業を受託し、他法人の方にコンサルの実施などを行った。コロナ禍ということもあり、コンサル方法などの工夫を行った。
 - ・メンター制度を開始している部署もあり、職員の育成や職員間のコミュニケーションの活性化を図っている。次年度はメンター制度を法人全体で取り組むことを方針としている。

令和3年度 重要実施事項

『人権を守る砦となる』

～「意思」の尊重と豊かな暮らしの支援～

1. 全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。
2. 権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。
3. PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する。
4. メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる。
5. ご利用者地域に出る取り組みを行うことで、地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する

権利擁護・虐待防止計画（2020 年度評価 及び 2021 年度事業計画）

作成日：2021 年 4 月 13 日	部署名： 萩の杜	権利擁護虐待防止責任者：富 貴大_
---------------------	----------	-------------------

2020 年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部目標：「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して</p> <p>計画内容：</p> <p>① eラーニングを活用して権利擁護意識を高める</p> <p>② 業務の振り返りチェックシートの実施</p> <p>③ ご利用者の意思決定の機会を増やし、生活の質の向上につなげる</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月の全体会議の際に、5ピクチャーズ整理表使用して、萩の杜の現状を整理した。そこから、5年後の萩の杜の目標を検討していき、重度高齢化プロジェクト会議で報告を行った。 <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入職職員の入職前にeラーニングの視聴を実施したが、個人の視聴はうまくすすめられていない。 ・業務振り返りチェックシートの実施はできなかった。 ・2月門先生のPECSのスーパーバイズをで実施し、意思表示や意思決定の支援につなげた。

2021 年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・合理的配慮に基づく支援や“意思決定”、“表出コミュニケーション”支援に取り組む
計画 内容	<p>① 年2回、業務振り返りシートの実施</p> <p>② eラーニングの視聴を行い、権利擁護の意識を高める</p> <p>③ 中山清司氏のスーパーバイズを通して、合理的配慮に基づく支援を徹底する</p>

2021 年度実施計画

月	2021 年度実施内容		備 考
4 月	・	10 月	・
5 月	・ 中山さん SV	11 月	・ 中山さん S V
6 月	・ 振り返りシートの実施	12 月	・ 萩の杜実践報告会
7 月	・ 中山さん SV	1 月	・ 振り返りシートの実施
8 月	・	2 月	・
9 月	・ 中山さん SV	3 月	

権利擁護・虐待防止計画（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成日：2021年4月20日	部署名：ジョブサイトひむろ	権利擁護虐待防止責任者：森田 耕平
----------------	---------------	-------------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部目標：「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して</p> <p>計画内容：</p> <p>④ モニタリング、個別支援計画書の改訂を行い、ご利用者の意思確認の標準化を図る。</p> <p>⑤ PECSの実践報告会を定期的に実施する。また、記録様式等も標準化する。</p> <p>⑥ 意思決定支援を促進するため、トーキングマット等のAACを活用し、実施に際し、勉強会を開催する。</p> <p>⑦ セレクト給食や誕生日の選択の機会を継続する。その際や、医療同意等の機会を通し、ご利用者への伝え方について個別に創意工夫する。</p> <p>⑧ e-ラーニングを活用し、クレドの浸透を図る。</p> <p>⑨ 法人全体の実施タイミングで、クレドの振り返りチェックを行う。</p> <p>⑩ 権利擁護、虐待防止に関する研修会を年2回開催し、全職員が受講する。</p> <p>⑪ 実習生、ボランティア、見学者を積極的に受け入れる。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>コロナ禍のため、従前通りとはいかなかったが、感染症対策を講じたうえで、ご利用者の生活や支援の質を落とさないよう、サービス提供の創意工夫を行った。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、個別支援計画の策定については、繁忙期の分散による意思確認の質の向上のため、年度の後半より受給者証の更新月への変更を始めたが、現在途上である。 ・門先生の事業所訪問の際には、現場にて直接指導をいただき大きな学びにつながった。 ・トーキングマットの研修への派遣、フィードバック研修を年末から年初にかけて実施した。 ・9月にクレド、および事業所の振り返りチェックを実施したが、e-ラーニングの活用方法については今後も検討が必要である。 ・コロナ禍により、ボランティア体験や福祉体験実習といった定番のプログラムについては中止になったが、他の施設、事業所で受け入れられなかった相談援助実習を2件受け入れた。

2021年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して
計画 内容	<p>① PECS、トーキングマット等、意思決定、表出コミュニケーション支援に継続して取り組み、定期的に研修会、実践報告会を行う。</p> <p>② 各グループで1ケース以上、PECS IV+等のICTを導入し、表出コミュニケーション支援に活用する。</p> <p>③ モニタリング、個別支援策定時のご利用者に対する面談フォーマットを整備し、事業所内での標準化を図る。</p> <p>④ 事業所内で絵カードを使用し、販売や注文する模擬体験の機会を設け、地域での活動に使用できるようにする。</p>

- ⑤ e-ラーニングの視聴会を定期的実施することで、クレドの浸透を図る。
- ⑥ 法人全体の実施タイミングで、クレドの振り返りチェックを行う。
- ⑦ 実習生、ボランティア、見学者の受け入れ、事業所間交流を積極的に行う。

2021 年度実施計画

月	2021 年度実施内容	備 考
4 月	令和 3 年度事業計画策定	第 1 回権利擁護虐待防止委員会
5 月	e-ラーニング運用方法検討	
6 月	(権利擁護虐待防止研修)	第 2 回権利擁護虐待防止委員会
7 月	内部研修 (PECS、冰山モデル)	
8 月	振り返りチェックシート検討	第 3 回権利擁護虐待防止委員会
9 月	振り返りチェックシート実施	
10 月	上期振り返り、下期に向けての修正、見直し	第 4 回権利擁護虐待防止委員会
11 月	e-ラーニング検証	
12 月	権利擁護虐待防止研修	第 5 回権利擁護虐待防止委員会 障害者週間
1 月	内部研修 (PECS、冰山モデル)	
2 月	下期振り返り、年間振り返り	第 6 回権利擁護虐待防止委員会
3 月	次年度目標、計画の検討	

権利擁護・虐待防止（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成年月日：2021年4月20日	部署名：レジデンスなさはら	虐待防止責任者：竹内久美子
------------------	---------------	---------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<ul style="list-style-type: none"> ④ ご本人の権利について改めて考え、権利擁護虐待防止研修を実施する ⑤ クレド、基本的価値観（3か条）の浸透を引き続き行う ⑥ 意思決定支援（表出、形成）を継続する。 ⑦ サポートブックの継続 ⑧ 雑談システムを全職員に実施し、職員間のコミュニケーションを促進する ⑨ 夜勤者ミーティングを半年に1回実施する
評価成果課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待は0ではあったが、グレーゾーン等があった。 <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①～⑥は計画通り実施。特に②は内部表彰という新たな形を実施した。

2021年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待件数0件を継続する ・意思決定支援を進め、ご利用者1人1人に説明できる個別支援計画を作成、実施を行う
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ① クレド、基本的価値観（3か条）の浸透を行うため内部表彰を継続実施していく。 ② トーキングマット、PECS 継続し意思決定支援（表出、形成）を継続する。 ③ サポートブックを更新していく。 ④ 個別支援計画フォームをご利用者1人1人に合わせてフォームを改定し、ご利用者に説明する。モニタリング時もトーキングマット等を活用しながら、ご利用者の意思を確認していく。 ④ 雑談システム、夜勤者ミーティングを実施し、職員間のコミュニケーションを促進する ⑥ レジデンスなさはらで個人情報保護について工夫できる点がないか検討する。 ⑦ アンガーマネジメント研修の継続実施を行いつつ、自己理解、他者理解を進めていく。

令和3年度実施計画

実施内容			
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・3番館夜勤者ミーティング ※ご利用者の誕生日月ごとに支援計画のフォーム改定、ご利用者に説明していく 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・1番館、3番館夜勤者ミーティング ・クレド振り返りチェックシート配布 ・グレーゾーンアンケート配布
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・1番館、3番館夜勤者ミーティング ・アンガーマネジメント研修実施 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的価値観振り返りチェックシート配布 ・2番館、3番館夜勤者ミーティング
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的価値観振り返りチェックシート配布 ・2番館、3番館夜勤者ミーティング 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・1番館、3番館夜勤者ミーティング ・個人情報保護研修（基礎）受講
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・1番館、3番館夜勤者ミーティング 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・2番館、3番館夜勤者ミーティング
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的価値観内部表彰を実施 ・2番館、3番館夜勤者ミーティング 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・1番館、3番館夜勤者ミーティング ・基本的価値観振り返りチェックシート配布
		2月	<ul style="list-style-type: none"> ・2番館、3番館夜勤者ミーティング
		3月	<ul style="list-style-type: none"> ・1番館、3番館夜勤者ミーティング

利擁護・虐待防止計画（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成日：2021年4月16日	部署名：レジデンスなさはら2丁目	権利擁護虐待防止責任者：井上裕加里
----------------	------------------	-------------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部目標：人権意識のさらなる浸透のために定期的な人権研修を行なう。</p> <p>計画内容：</p> <p>① 具体的な事例を基に支援場面におけるご利用者の権利擁護を考える。</p> <p>② eラーニング視聴を進め、クレドの浸透を図る。</p> <p>③ 表出コミュニケーションや意思の確認を進める。</p> <p>④ レジデンスなさはら2丁目基本理念の改定準備をする。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・人権研修は定期的に行うことが出来なかった。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>①あるご利用者が万引きされた際、その後外出が出来ないようにホームの鍵を閉めるのではなく、地域の店にご説明をしに行き、その方が今後も地域で生きられるということを考えた支援を行った。</p> <p>②新人職員が空き時間に自主的に視聴し、クレドを理解することへ繋がったが、スタッフ全体への浸透には至らなかった。</p> <p>③表出コミュニケーションについては一部の実施となったが、ご利用者の意思についてはミーティングなどで適宜議論がなされた。</p> <p>④実行出来なかった。</p>

2021年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「人権意識を高める」「障がい特性の理解を深め支援に活かす」
計画 内容	<p>① クレドの浸透を図る</p> <p>② 内部研修を実施し、人権や障がい特性を学べる機会を設定する</p> <p>③ 2丁目の基本理念を改訂する</p> <p>④ 職員間のコミュニケーションを促進する</p>

2021年度実施計画

月	2021年度実施内容		備考
4月	・定期メンター制度開始	10月	・内部研修「意思表出支援について」
5月	・2丁目基本理念の改訂を検討していく	11月	・
6月	・内部研修「障がい特性について」 ・夜勤者ミーティング	12月	・夜勤者ミーティング
7月	・	1月	・クレド振り返りチェック
8月	・内部研修「人権について」	2月	・
9月	・クレド振り返りチェック ・夜勤者ミーティング	3月	・夜勤者ミーティング

権利擁護・虐待防止計画（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成日：2021年4月19日	部署名：レジデンスなさはらもとまち	権利擁護虐待防止責任者：辻本紗弥
----------------	-------------------	------------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部目標：「人権意識を高める」「障がい特性の理解を深め支援に活かす」</p> <p>計画内容：① 障がい特性を学ぶ内部研修の機会を設定する。</p> <p>② クレドの浸透を図る</p> <p>③ もとまち基本的理念（価値観）を作成し、浸透を図る</p> <p>④ 意思表示支援の研修に参加し、今後の取り組みを検討する。</p> <p>⑤ 職員間のコミュニケーションを促進する</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・下記の内容を実施することで、人権意識の向上、障がい特性の理解を深めた支援につながった。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>① 15回／年の内部研修を行い、障がい特性などを学ぶ機会を設定した。</p> <p>② eラーニングでの勉強、ふりかえりチェックを行うことで、クレドの浸透を図った。</p> <p>③ もとまち基本理念を作成した。ポスター、名刺にしている目も届くところに掲示している。</p> <p>④ 内部研修で「コミュニケーション」について学ぶ機会を設定した。取り組みにPECSを導入。</p> <p>⑤ スタッフと1回／月、雑談を行い、話やすい雰囲気作りをおこなった。</p>

2021年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者様に対して丁寧な声かけを行う」「人権意識の向上を目指す」
計画 内容	<p>①もとまち基本理念のふりかえりチェックについて検討、実施を行う。合わせて法人クレドのふりかえりチェックも行う。</p> <p>② コミュニケーション支援を継続、また実施するご利用者様を広げていく。</p> <p>③ サポートブックの更新を行う。</p> <p>④ 意思決定支援会議実施に向けて、意思決定についての勉強会を実施する。</p> <p>⑤ ニーズ調査を行い、ご本人のニーズの把握を行い、支援計画につなげる。</p> <p>⑥ 雑談システムを継続し、職員間のスムーズなコミュニケーションを図る。</p> <p>⑦ 定期的に夜勤者ミーティングを実施し、支援の統一を図る。</p>

2021年度実施計画

月	2021年度実施内容		備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> 雑談システム実施（毎月） サポートブック更新開始（～6月） 夜勤者ミーティング実施 	10月	・夜勤者ミーティング実施
5月	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定支勉強会検討、実施（～9月） 	11月	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査実施 	12月	・ニーズ調査実施
7月	<ul style="list-style-type: none"> もとまちふりかえりチェック検討 夜勤者ミーティング実施 	1月	・夜勤者ミーティング実施
8月		2月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 法人ふりかえりチェック実施 もとまちふりかえりチェック実施 	3月	

権利擁護・虐待防止（2020年度評価 及び 2021年度計画）

作成年月日：2021年4月20日	部署名：ぷれいす Be	虐待防止責任者：松本 理恵
------------------	-------------	---------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：表出コミュニケーション支援の実践を着実に行う</p> <p>計画： コミュニケーション支援研修会を開催する。 言葉以外の代替コミュニケーションの方法を試行し、評価する（PECSも含む）。 権利擁護・虐待防止研修を開催する。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PECS やそれに似たカードを使ったコミュニケーション支援、日々の活動の中で選択する場面を意図的に設定することで、意思の表出や決定をする機会を増やす等の実践が見られる様になってきた。職員間での意識の違いはまだまだ大きいため、施設全体でのコミュニケーション支援の実践につなげていきたい。 <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務/クレド振り返りチェックを実施した。 ・研修が出来ず、eラーニングをみてチームごとで、意見を交わす機会を設けた。 ・新任職員対象にコミュニケーション支援の実践報告と研修を行う。

2021年度計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表出コミュニケーション支援をさらに進める ・権利擁護・虐待防止について、クレド業務の振り返りを行い、チームリーダーを中心に施設全体の課題を共有する。
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> ① PECS 研修の受講（2名予定） ② 業務振り返りシートの実施、会議での検証を実施 ③ 法人内の PECS 実践報告に参加、実践の発表を行う

令和3年度実施計画

月	令和2年度実施内容	備考
4月	PECS 研修（基礎）	職員2名受講
5月	コミュニケーション支援基礎研修	中山清司氏講師
6月		
7月		
8月		
9月	権利擁護虐待防止研修 業務/クレド振り返りチェック	事業所外講師に依頼
10月	振り返りチェックの確認	委員会にて
11月	eラーニング視聴会	
12月		
1月	PECS 実践報告会（法人内部）	
2月		
3月		

権利擁護・虐待防止計画（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成日：2021年4月16日	部署名：地域生活支援部よど	権利擁護虐待防止責任者：倉窪明子、中垣内貴恵、藤谷沙紀 委員：原田智弘
----------------	---------------	--

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部門目標：・お互いに気づいたことを言い合える職場環境にし、支援の力を入れる。</p> <p>計画内容：</p> <p>① 表出コミュニケーション支援の研修を進めていく。</p> <p>② グレーゾーンのアンケートを取り、振り返りを行う。</p> <p>③ 法人のクレドに基づく業務の振り返りを実施する。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・年度内にフロア間異動等があり、チームとしての醸成はまだこれからである。 気づいたことを共有できる地盤は重要なので、今後も目指していく。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>・ほぼ実施済み。業務の振り返りシートは次年度見直しをして実施。</p>

2021年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・ご本人中心の視点をさらに深め、よりよい代弁者となる。
計画 内容	<p>① 意思決定支援の学習を進め、実践する。</p> <p>② 各職員の気づきを深めるための研修実施やチームとしての権利擁護機能を高める。</p> <p>③ 満足度調査の実施と分析から業務改善を進めていく。</p>

2021年度実施計画（JS…ジョブサイトよど JB…ジェイ・ブランチャよど RY…レジデンスよど）

月	2021年度実施内容		備考
4月	・あるべき職員像（JS）	10月	・利用者、ご家族への満足度調査実施（RY） ・満足度調査振り返りとそこからの業務改善（部）
5月	・あるべき職員像（JB） ・意思決定支援勉強会（JS）	11月	・権利擁護と人権関係、表出コミュニケーション関係研修（JB）
6月	・	12月	・人権研修（RY）
7月	・	1月	・
8月	・満足度調査実施（JS・JB）	2月	・
9月	・支援員への振り返りチェックシート実施（部）	3月	・支援員への振り返りチェックシート実施（部）

権利擁護・虐待防止（令和2年度評価 及び 令和3年事業計画案）

作成年月日：令和2年4月24日	部署名：就労支援部	虐待防止責任者：星明聡志
-----------------	-----------	--------------

令和2年度評価（振り返り）

	<p>■令和元年度虐待防止目標・計画</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援を「客観視」できる仕組みづくり <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングのコンテンツを活用して、内部研修を実施 ・ご利用者満足度調査、ご家族満足度調査の実施を検討 ・業務の振り返りチェックシートの定期実施 ・書籍「スローコミュニケーション」を活用し、合理的配慮、意思決定支援等の勉強会を実施
評価 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の振り返りチェックシートは年間で2回実施。 ・利用者・ご家族満足度調査を実施した。（JJは6月、LaLaは3月） ・満足度調査は、比較的満足度の高い結果となり、自由記述では多くのご意見をいただいた。

令和3年 事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・利用者ニーズ・満足度を意識した組織風土づくり
計画 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングのコンテンツを活用して、内部研修を実施 ・ご利用者満足度調査、ご家族満足度調査の実施と実施後にwebサイトで公開する ・業務の振り返りチェックシートの定期実施 ・職場における合理的配慮、意思決定支援等の勉強会を実施

令和3年度実施計画

月	平成30年度実施内容	備考
4月		
5月	業務の振り返りチェックシートの使用	
6月		
7月		
8月	ご利用者、ご家族満足度調査の実施	
9月		
10月		
11月	内部研修（合理的配慮や意思決定支援について）	
12月		
1月		
2月	業務の振り返りチェックシートの使用	
3月		

権利擁護・虐待防止計画（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成日：2021年4月13日	部署名：児童発達支援部	権利擁護虐待防止責任者：岩城 望
----------------	-------------	------------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部門目標：「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく</p> <p>計画内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定し権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。 ② 権利擁護虐待防止クレドの振り返りチェックを法人全体で時期を合わせて実施する。 ③ PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を実施する。 ④ e-ラーニングの「クレド」のコンテンツ視聴を推進するなど、人権研修を実施する。 ⑤ 法人内外のSV機能を活かし、職員のメンタルヘルスを推進することや、職員間の豊かなコミュニケーションにより風通しのよい組織文化を形成していく。
評価 成果 課題	<p>【計画の振り返り】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 部が広範囲であり、情報を共有することが難しかった。 ② クレドの振り返りを計画通り実施できた。 ③ 法人での門先生によるPECSのSVを受けることにより、表出コミュニケーションの支援方法を高めることができた。 ④ e-ラーニングの視聴状況について、把握に課題があった。 ⑤ 法人内の事業所の見学や、事業所間の交流研修などを積極的に実施した。

2021年度事業計画

ビジョン	『人権を守る砦となる』
目標	「権利擁護虐待防止委員会」の活動計画に基づき、実施していく
計画 内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 全ての部署で権利擁護虐待防止計画を策定、権利擁護虐待防止委員会にて進捗管理を行う。 → 地区会議にて権利擁護・虐待防止について議題にあげる。地区会議の議事録を部全体で共有し、委員会にて報告をする。 ② 権利擁護虐待防止クレドの浸透を図り、ご利用者を中心とした支援の意識を高める。 → e-ラーニングの「クレド」のコンテンツを改めて視聴してもらうことで、クレドについて各職員の意識を高める。 ③ PECSをはじめとする表出コミュニケーションの支援を推進する。 → PECSの実践についてまとめ、門先生よりSVを受ける。 ④ メンター制度の導入など、職員間の豊かなコミュニケーションを活性化し、メンタルサポートの整備につなげる。 → 地区を超えた事業所間交流を積極的に実施する。 ⑤ ご利用者とは地域に出る取り組みを行うことで地域の理解を深め「地域に生きる」を推進する → 地域の資源を活用するような支援を検討し、実施する。

2021 年度実施計画

月	2021 年度実施内容		備 考
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・事業所間交流の実施 ・e-ラーニング「クレド」コンテンツ視聴 	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・事業所間交流の実施（中高生支援）
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・事業所間交流の実施（中高生支援）
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・職員との面談を実施 	12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・職員との面談を実施
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・事業所間交流の実施（中高生支援） 	1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議）
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・事業所間交流の実施（中高生支援） 	2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・権利擁護・虐待防止の計画の振り返り
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・クレド、職員行動チェックリストを実施 	3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の開催（地区会議） ・次年度の事業計画を作成する。

権利擁護・虐待防止計画（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成日：2021年4月16日	部署名：アクトおおさか	権利擁護虐待防止責任者：岡あゆみ
----------------	-------------	------------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。 <p>計画内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1回／週ケース検討会議を実施し、ケースについて、虐待やそれを疑われる状況がないか振り返り、必要に応じて通報等の対応を行う。 ② 公開講座を実施し、発達障がい者の特性や必要な支援についての情報提供を実施する。
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいに関する理解が得られないことにより、必要な配慮が受けられないといった状況に陥らないよう、必要に応じて関係機関と連携しながら対応した。年間を通して虐待が疑われ通報に至るケースはなかった。 ・アクトおおさかでは相談、就労支援など直接支援と合わせて、年2回の公開講座を実施し、発達障がいの理解促進と権利擁護の推進に努めてきた。今年度も引き続き発達障がいの当事者の方からの講演の機会を設けることで、発達障がいの方に必要な配慮や支援について、府民、支援者が理解を深める機会となった。また、今年度については新型コロナウイルス感染拡大の影響により、Zoom ウェビナーを活用したオンラインでの実施となった。感染防止対策ではあったが、結果的に多くの方々に参加いただくことが出来たため、広く普及啓発、権利擁護の推進に繋げることが出来た。 <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議は原則として毎週実施した。定期的に各職員が担当しているケースの進捗状況を確認、共有し、担当職員一人の視点ではなく、多角的な視点で意見を出し合うことで、所内全体でケースの動向や関係機関との関わりについて把握し、ご利用者への適切な支援が行えているか等、共有することが出来た。

2021年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護の推進に努める。
計画 内容	① 定期的なケース検討会議を行い、合理的配慮の不提供とならないよう障がい特性や二次障がいの理解を深め、ご本人のニーズに基づく支援を行う。

	<p>② スタッフ間の情報共有、意見交換を図り、相互に相談し合える環境作りを行い、スタッフのストレスマネジメントにも留意する。</p> <p>③ 相談ケースにおいて虐待案件が確認された場合を想定し、報告・相談・記録等の在り方を周知すると共に通報義務を果たす。</p> <p>④ 公開講座等の普及啓発に関する事業の実施を通して、府民や関係機関に対して発達障がいの理解促進と権利擁護の推進に努める。</p> <p>⑤ 事業所内で北摂杉の子会クレドの周知、徹底を図る。</p>
--	---

2021 年度実施計画

月	2021 年度実施内容		備 考
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回／週 ケース検討会議を実施。 ・ クレドのポスターをセンター内に掲示する。 	10 月	・
5 月	・	11 月	・ 公開講座（府民対象）
6 月	・	12 月	・
7 月	・	1 月	・ 公開講座（支援者対象・応用）
8 月	・ 公開講座（支援者対象・基礎）	2 月	・
9 月	・	3 月	

権利擁護・虐待防止計画（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成日：2021年4月13日	部署名：相談支援・人材育成研修部	権利擁護虐待防止責任者：山根和史
----------------	------------------	------------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部目標： 「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。</p> <p>計画内容： ① 虐待の発見、通報に関する研修を実施する。 ② 虐待等が疑われるケースについては職員一人で抱え込まず所内で情報共有して対応する。 ③ ご利用者が意思決定していけるようご本人に合わせた支援方法を習得する。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <p>・相談支援事業所では直接的な支援は少ないが相談者と地域の支援機関との調整の中で権利擁護に努めた。事業所内だけでなく、地域での権利擁護や支援の質の向上のために自立支援協議会虐待をテーマに情報交換や発達障がいに関する勉強会を実施した。</p> <p>人材育成研修室では虐待事案のあった施設にコンサルテーションに入り、適切な支援について助言を実施している。</p> <p>【計画の振り返り】</p> <p>① 虐待の発見、通報に関する研修は高槻市虐待防止センターに依頼し、高槻市での虐待防止の現状について学ぶ研修を企画したが感染症の状況をみて次年度に延期とした。</p> <p>② 定期的なケース会議でケースについては情報共有しながら対応する。関係機関とも連携を図るよう情報共有を行った。</p> <p>③ PECS研修の受講や、特性に合わせた面談技法の習得を図った。</p>

2021年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・「ご利用者の生活の質」と「支援の質」の向上を目指して、地域における障害者虐待防止及び障害を理由とする差別の解消に向け、理解の促進と啓発を行うと共に、関係機関との連携を図り権利擁護に努める。
計画 内容	<p>⑩ 虐待防止・権利擁護に関する内部研修を実施する。</p> <p>⑪ 虐待等が疑われるケースについては職員一人で抱え込まず所内で情報共有して対応する。</p> <p>⑫ 部内で北摂杉の子会クレドの周知し、クレドに沿った支援を進める。</p>

2021年度実施計画

月	2021年度実施内容		備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドに関するポスター等を掲示する。 ・ケース会議等で情報共有（毎月） 	10月	・虐待防止に関する研修の実施
5月	・	11月	・

6月	•	12月	•
7月	•	1月	•
8月	•	2月	•
9月	•	3月	

権利擁護・虐待防止計画（2020年度評価 及び 2021年度事業計画）

作成日：2021年4月 日	部署名：訪問看護ステーション	権利擁護虐待防止責任者：徳光 薫
---------------	----------------	------------------

2020年度評価（振り返り）

計画	<p>ビジョン：『人権を守る砦となる』</p> <p>各部目標：虐待の芽を見逃さない。</p> <p>計画内容：</p> <p>① 何が虐待や利用者の権利を侵害することにあたるかについて、疑問点を明確にする。</p> <p>② 毎月のミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。</p> <p>③ 虐待防止に関する情報を共有し、意見交換する。</p> <p>④ 成人のみならず、未成年・年少の利用者に対する言葉遣いを丁寧にする。</p>
評価 成果 課題	<p>【目標の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の訪問で、少しでも虐待の可能性のある事例については、スタッフ全員で情報を共有するようにした。 <p>【計画の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の訪問で、虐待が疑われた事例について、スタッフ全員で情報を共有し、関係機関へ問い合わせた。 未成年・年少者に対しても言葉遣いなど丁寧に行っているが、丁寧の基準などが難しいと感じた。 利用者の意図に反して、課題等を強要することはなかった。 母が声を荒げていることがあったが、それに対して止めることをしたり、母に共感することはしなかった。

2021年度事業計画

ビジョン	・『人権を守る砦となる』
目標	・その人らしい生活を送る権利を守る。
計画 内容	<p>① 定期的にミーティングで事例を持ち寄り、権利擁護・虐待防止の観点から検討する。</p> <p>② ①について、クレドの項目を具体的事例で検討していく。</p> <p>③ 逆亭防止に関する情報を共有し、意見交換する。</p> <p>④ 成人・未成年・年少者にかかわらず言葉遣いに配慮する。</p> <p>⑤ 利用者の自己選択や、理解しやすい個別のスケジュールを作成するなど、わかりやすいツールを作成する。</p>

2021年度実施計画

月	2021年度実施内容		備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 虐待防止委員会の開催（地区会議） 	10月	<ul style="list-style-type: none"> クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 虐待防止委員会の開催（地区会議）

5月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 ・個人研修計画の振り返りを実施する。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 ・個人研修計画の振り返りを実施する。 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議） 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 ・虐待防止委員会の開催（地区会議）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・クレドや人権について、スタッフ間で確認する。 ・ひやりはっと報告書を確認し共有する。 ・ミーティング時に、虐待防止に関する振り返りを行う。 ・次年度の事業計画を作成する。